

第9回 脳・神経・内分泌系から運動の意義を考える会

脳も筋と同様、運動に対して反応・適応します。昨今の脳科学研究の急速な発達に伴い続々と見出される神経生理活性物質（ホルモンやサイトカインなど）は、様々な運動効果を仲介する脳・ホルモン機構や分子経路を考え、身心統合への理解を深める新たな視点を提供してくれます。こうした新しいトピックスや研究上の様々な課題について情報交換し、身体運動科学の新たな視点を育むことを目指し、本フォーラムを開催致します。

今回は「運動で打ち勝つストレス社会」と題し、ストレス感受性やストレス関連疾患を脳・神経・内分泌系の観点から論じ、ストレスに対抗するたくましい身心を育む運動効果について議論・情報交換します。現代社会に蔓延するストレスにより生じる様々な問題を解決する上での運動の重要性について深く考察する機会となれば幸いです。

1. 日 時：2016年9月22（木）14:00～17:30（13:30 受付開始）
2. 場 所：岩手県民情報交流センター（アイーナ）8F 会議室 804B
3. 会 費：一般 2000 円、学生 1000 円 ※研究会の当日、受付にて申し受けます。
4. プログラム：

□話題提供（発表 30 分間 + 討論 15 分間）

「オキシトシンとストレス感受性」

尾仲 達史（自治医科大学）

「甲状腺ホルモン攪乱由来の発達障害の症状を緩和する運動効果とその機序」

中野 裕史（中村学園大学）

「習慣的運動の中断はストレス脆弱性を高めるか？」

西島 壮（首都大学東京）

□トピックスアワー（質疑応答含め 15 分間程度での発表）

5. 懇親会：懇親会のみでの参加も歓迎いたします。
会場：未定
時間：18:00～20:00（予定）
会費：一般 5000 円、学生 4000 円（予定）
6. 世話人：北 一郎（首都大学東京）、丹 信介（山口大学）、三上俊夫（日本医科大学）、
征矢英昭（筑波大学）
7. 参加申込み：研究会ならびに懇親会に参加される方、トピックスアワーで発表いただける方は下記連絡先までご一報いただければ幸いです。
8. 連絡先：征矢英昭
筑波大学大学院人間総合科学研究科運動生化学研究室
Tel./FAX：029-853-2620
E-mail：hsoya@taiiku.tsukuba.ac.jp